

教科科目名	リハビリテーション医学		
担当者	今井 進 木村 秀伯		
学 年	専門課程3年		
配当時間数	年間60時間：週2時間×30週	単位数	2単位
使用教科書	生活と疾病IA リハビリテーション医学（概論編） 生活と疾病IB リハビリテーション医学（基礎運動学編）		
使用参考書	東洋療法学校協会編教科書 リハビリテーション医学 第4版,		
指導目標	施術者として必要なリハビリテーション医学の基礎的知識について学習し、これを施術に応用する能力と態度を養う。		
	指導項目（大項目）	配時	実時数
	リハビリテーションの総説		
	(1) リハビリテーションの概要	1	
	(2) 医学的リハビリテーションの概要	1	
	(3) 障害の評価	5	
	(4) 医学的リハビリテーションの実際	5	
	疾患別リハビリテーション		
	(5) 脳血管障害のリハビリテーション	5	
	(6) 脳性麻痺のリハビリテーション	4	
	(7) 脊髄損傷のリハビリテーション	6	
	(8) 主な整形外科疾患のリハビリテーション	6	
	(9) 関節リウマチのリハビリテーション	4	
	(10) 切断のリハビリテーション	3	
	(11) 呼吸器疾患のリハビリテーション	3	
	(12) 心疾患のリハビリテーション	3	
	運動の仕組み		
	(13) 運動学の基礎	2	
	(14) 人体の構造と機能	3	
	(15) 姿勢と運動のコントロール	3	
	(16) 身体各部の運動	3	
	(17) 正常歩行と異常歩行	3	
	合計時間数	60	
○試験及び成績評価 前期期末、後期期末2回の総括的評価の結果により、その素点の平均点をもって年間評価とする。 なお、前期中間評価期間と後期中間評価期間には、それぞれの到達度を確認するため、形成的評価を実施する。			

平成31年度 教科指導計画(シラバス)

授業科目名	あん摩マッサージ指圧基礎Ⅲ(指圧)				
担当者名	今井 進 上野 博之				
配当学年	専門1年	単位数	2	年間授業時間	60時間以上
授業目標	施術者として必要な施術に関する知識と技能について学習し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を養う。				
授業内容				配当時間	実施時間
1. 施術への導入 ①指圧の意義と役割 ②施術者としての心構え ③施術室の管理 ④施術用具の取扱い ⑤衛生管理(手指の消毒を含む) ⑥リスク管理				10	
2. 指圧の基本手技 ①押圧操作法 ②運動操作法				20	
3. 指圧施術上の基本的事項				10	
4. 腹臥位の指圧 ①背部 ②殿部 ③大腿 ④下腿 ⑤足部 ⑥後頭部・後頸部・肩上部				20	
数間時				60	
試験及び成績評価	総括的評価は各学期末に実施し、中間期は形成的評価を実施する。学年末成績は、各期の評価の相加平均とする。				
教科書 参考図書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)				

授業科目名	はき基礎実習Ⅱ(灸)		担当者名	水沼	
配当学年	専門 1 年	単位数	2	年間授業時間	60 時間以上
授業目標	<p>施術者として必要な施術に関する知識と技能について学習し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得する。</p>				
授業内容	<p>1) 艾 (1) 艾の種類 A 散り艾 B 切り艾 (2) 艾の品質と鑑別 (3) 艾の保存 (4) 線香</p> <p>2) 施灸の種類 (1) 有痕灸各種 (2) 無痕灸各種</p> <p>3) 施灸の実際 (A) 有痕灸 ① 透熱灸 A 手順 B 灸点のおろし方 C 艾しゆの形と大きさ D 艾しゆのひねり方 E 線香の取り扱いと点火 F 燃焼後の灰処理 ② 施灸の工夫 ③ 施灸の練習 (B) 無痕灸 ① 知熱灸 ② 各種温灸 ③ 各種隔物灸</p> <p>4) 身体各部の施灸 (1) 灸の大きさ、壮数について (2) 特殊部位の施灸 ①身体斜面の施灸 ②頭皮部の施灸 ③顔面部の施灸 ④腹部の施灸 ⑤鶏眼、尋常性疣贅、胼胝等への施灸</p> <p>※視覚障害者に出来る灸実技はどうあるべきかを念頭におき、可能なものを想意・工夫するよう留意する</p>				
試験及び成績評価	<p>定期試験時における実技試験（年2回）により、技術の上達度などを考慮して総合的に評価する。</p>				
教科書	<p>参考 鍼灸実技 (オリエンス研究会)</p>				

平成31年度 教科指導計画（シラバス）

授業科目名	あん摩マッサージ指圧応用Ⅱ				
担当者名	今井 進 土志田 武				
配当学年	専門2年	単位数	2	年間授業時間	60時間以上
授業目標	<p>施術者として必要な応用的施術に関する知識と技能について学習し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を養う。また、臨床実習前に施術実技試験等を行い、技術等に関する評価を行う。</p>				
	授業内容	配当時間	実施時間		
1	臨床入門 ア リスク管理 イ 衛生管理 ウ 患者への対応 エ 診察の進め方 オ 適否の判定	5			
2	日常遭遇しやすい主な症候・疾患に対する運動療法 ア 腰痛体操 イ 五十肩体操 ウ 肩こり体操 エ 膝痛に対する大腿四頭筋訓練 オ その他の治療体操	10			
3	施術に応用する物理療法 ア 温熱療法 イ 電気療法 ウ 牽引療法 エ その他	15			
4	その他の関連する手技療法	15			
5	介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ア 運動機能評価 イ 包括的高齢者運動トレーニング ウ 介護に必要な基礎的事項	10			
6	臨床実習前試験等	5			
	時間数	60			
試験及び成績評価	<p>総括的評価は各学期末のみ実施し、中間期は形成的評価を実施する。学年末成績は、各期の評価の相加平均とする。成績は、小数点第1位で切り捨てた整数とする。</p>				
教科書 参考図書					

平成 31 年度シラバス					
授業科目名	あん摩臨床Ⅱ		担当者名	山田忠 伊達徳昭	
配当学年	専門 3 年	単位数	2	年間授業時間	90 時間以上
授業目標	<p>施術者として必要な施術に関する知識と技能について学習し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得する。</p>				
授業内容	<p>1. 施術者としての基本 (ア) 施術者としての心得 (イ) 衛生管理 (ウ) リスク管理 (エ) 患者への対応 (オ) 診察の進め方 (カ) 適否判定 (キ) 日常遭遇しやすい主な症候・疾患に対する診察と施術 (ク) 施術に併用できる運動療法および物理療法</p> <p>2. 設備や備品の管理と清潔の保持</p> <p>3. 消毒 (ア) 施術器具の消毒 (イ) 手指及び施術部位の消毒</p> <p>4. 施術の実践 (ア) 診察、評価及び施術適否の判定 (イ) あん摩マッサージ指圧施術の実施 (ウ) 運動・物理療法の併用 (エ) 施術過誤の防止と対処 (オ) 正しいカルテの記入</p> <p>5. 実習のまとめ (ア) カンファレンスの実施</p> <p>6. 臨床家による講座</p>				
試験及び成績評価	<p>試験及び成績評価 前期期末、後期期末の各期に、実習態度、施術に関する知識、施術に関する技能、施術の記録などを考慮して総合的に評価する。前期中間・後期中間に形成的評価を行う。</p>				
教科書	あん摩マッサージ指圧実技（基礎編）				

授業科目名	鍼灸臨床Ⅱ		担当者名	上野 水沼	
配当学年	専門3年	単位数	2	年間授業時間	90時間以上
授業目標	<p>施術者として必要な施術に関する知識と技能について学習し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得する。</p>				
授業内容	<p>オリエンテーション 施術者としての基本 (ア) 施術者としての心得 (イ) 患者への対応 設備や備品の管理と清潔の保持 消毒 (ア) 施術器具の消毒 (イ) 手指及び施術部位の消毒 施術の実践 (ア) 診察、評価及び施術適否の判定 (イ) 鍼灸施術の実施 (ウ) 運動・物理療法の併用 実習のまとめ (ア) ケースレポートの作成 (イ) カンファレンスの実施</p>				
試験及び成績評価	<p>接遇 技術 知識 考察 (カルテの記入方) を加味し年度末評価とする。</p>				
教科書	なし				